

凡例：質問中の〔 〕内の番号は2024年度ヒアリングシートの間番号を示す

利用者情報ワーキンググループ 2025年度ヒアリングシート

以下の各項目について、デジタル広告の観点における貴社の取組・状況をご記載ください。2024年度モニタリング時と同じ設問に関しては、回答に変更がない場合はその旨、変更がある場合は変更点が分かるよう赤字（見え消し）でご記載をお願いいたします。

なお、2025年度のモニタリングの観点（※）と各項目の関連は以下のとおりであり、関連ある項目については特に詳細にご記載ください。

（※）利用者情報に関するワーキンググループ（第24回）資料24－1利用者情報の取扱いに関するモニタリングについて P4、5
https://www.soumu.go.jp/main_content/001009597.pdf

<2025年度モニタリングの観点>

- ・特にアカウント非保有の利用者について、取得する情報の内容等について適切な方法で説明されているか（問2-1、2-4）
- ・プライバシーポリシー等が利用者からどの程度読まれ理解されているかを把握しているか（問2-3）
- ・プラットフォーム事業者が、第三者による同意取得や説明が利用者に適切に実施されていることを把握しているか（問3-3）
- ・プラットフォーム事業者が、第三者や第三者の運営するウェブサイトを通じて利用者の情報を取得・利用していることについて、自社のプライバシーポリシー等で利用者に説明しているか（問3-5）
- ・アカウント作成時にターゲティング広告の同意を拒否する選択肢が設けられているか（問2-5-3）
- ・アカウント非保有利用者へのオプトアウトの方法について情報提供が十分にされているか（問2-7）
- ・オプトアウトしても広告以外の用途で利用者情報が使用される場合があるか（問2-6-2）
- ・利用者から直接取得した情報を元に生成した情報のポータビリティは可能か（問2-9-2）
- ・ターゲティング広告に係る事前の設定の機会やオプトアウト機会の利用者への提供について、いわゆるダークパターンを回避するために各社はどのような取組を行っているか。（問5-1～5-3）
- ・ターゲティング広告に関して、利用者のターゲティング手法に変化はあるか。利用者情報の取扱いの観点から懸念はないか。（問6-1、6-2）

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

社名	Google LLC
1. 利用者情報の取扱いの状況 ※以下の3つのパターンについて、差異が分かるように回答すること。内容に差異がない場合は、その旨回答すること（例：①と同じ、等）。 ①アカウントを保有している利用者が、ログインしてサービスを利用・閲覧する場合 ②アカウントを保有している利用者が、ログインせずにサービスを利用・閲覧する場合 ③アカウントを保有していない利用者が、サービスを利用・閲覧する場合	
1-1. 〔1-1〕	利用者情報取得の場面・取得する情報の内容、利用目的 ① ② ③ ※②、③については、①との差異についてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 昨年の回答からの変更点：ありません。 ①、②、③の差異：特定の記載が無い限り、①、②、③の回答は同じです。 【プライバシーポリシー、Google が収集する情報から】 Google は、すべてのユーザーによりよいサービスを提供するために情報を収集します。お客様の使用言語といった基本的な事項を理解することや、お客様にとって最も役に立つ広告はどの広告か、インターネット上で重要な相手は誰か、おすすめの YouTube 動画はどれか、などの複雑な事項を推定することが含まれます。Google がどの情報を収集するか、その情報がどのように使用されるかは、お客様がどのように Google のサービスを利用するか、プライバシー設定をどのように管理するかによって変わります。

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		②、③： お客様が Google アカウントにログインしていないときは、お使いのブラウザ、アプリケーション、またはデバイスに関連付けられた固有 ID によって収集した情報を保存します。これは、たとえばブラウザで次回以降のセッションでもご指定の言語設定や、より関連性の高い検索結果または広告を表示するかどうかなどの設定を保持するために役立ちます。 ①： お客様がアカウントにログインしているときは、お客様の Google アカウントに保存する情報も収集します。この情報は個人情報として取り扱われます。
1-2-1. [1-2-1]	取得情報の加工・分析・利用状況	① ② ③ ※②、③については、①との差異についてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 ①、②、③の差異：特定の記載が無い限り、①、②、③の回答は同じです。 Google が収集する情報、およびその情報の使用方法は、ユーザーが Google のサービスをどのように使用し、プライバシーをどのように管理しているかによって異なります。パーソナライズされた広告を表示するために Google が使用できる情報は、ユーザーが管理します。ユーザーはログインしているかどうかに関わらず、広告をパーソナライズするかどうかを広告の設定で管理できます。さらに、ログインしているユーザーは、広告の設定を使用して、Google が広告のパーソナライズに使用するデータを管理することや、広告のカスタマイズのために使用されたくない情報を対象外にすることも容易に行えます。

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

詳しくは、[パーソナライズド広告の仕組み](#)をご確認ください。

【プライバシーポリシー、[Google がデータを収集する目的](#)から】

Google は、Google の全てのサービスから収集した情報を以下の目的に使用します。

サービスの提供

ユーザーの情報を、サービスを提供するために使用します。たとえば、検索キーワードを処理して結果を表示するため、ユーザーの連絡先から共有相手の候補を表示してコンテンツを共有しやすくするためなどに使用します【①のみ】。

サービスの維持、向上

ユーザーの情報を、[サービスを意図したとおりに稼働させる](#)ために使用します。たとえば、障害事例を追跡するため、あるいは報告をいただいた問題の解決に取り組むためなどに使用します。また、ユーザーの情報を、Google のサービスを[向上させる](#)ために使用します。たとえば、特にスペルミスの多い検索キーワードを把握し、各種サービスでのスペルチェック機能の向上に役立てます。

新しいサービスの開発

既存のサービスで収集した情報を、新しいサービスの開発に役立てます。たとえば、Picasa（Google の最初の写真アプリ）でユーザーがどのように写真を整理するかを把握したことが、Google フォトの設計とサービス開始に役立ちました。

コンテンツや広告など、カスタマイズしたサービス提供

Google は、Google のサービスを個々のユーザーに合わせてカスタマイズするために、収集した情報を使用します。たとえば、[セキュリティ診断](#)では、お客様がどのような方法で Google サービスを利用しているかに応じてセキュリティのヒントを提供します【①のみ】。

また、お客様の設定内容によっては、Google Play でおすすめの新しいアプリを表示するために、お客様がそれまでにインストールしたアプリや YouTube で再生

	した動画などの情報が使用されることがあります【①のみ】。 お客様の設定内容により、Google は、お客様が関心をお持ちの事柄や 各種 Google サービスでのアクティビティに基づいて パーソナライズド広告を表示することもあります。たとえば、「マウンテンバイク」というキーワードで検索すると、YouTube でスポーツ用品の広告が表示されることがあります。Google による広告表示にどの情報が使用されるかは、お客様自身が マイ アドセンターの広告設定画面で管理できます【①のみ】。 ● なお、人種、宗教、性的指向、健康状態など、機密性の高いカテゴリに基づいてカスタマイズされた広告を表示することはありません。 ● ドライブ、Gmail、フォトのコンテンツに基づいてカスタマイズされた広告を表示することはありません。 ● お客様からご依頼がない限り、お客様のお名前、メールアドレスなど、お客様を個人として特定できる情報を広告主と共有することはありません。たとえば、付近のフラワーショップの広告が表示され、お客様が [タップして通話] ボタンをタップした場合に、Google では通話を接続する際にお客様の電話番号をフラワー ショップと共有することがあります。 パフォーマンス測定 Google は、Google のサービスがどのように利用されているのかを把握するために、分析や測定のためのデータを使用します。たとえば、Google のサイトへのユーザーのアクセスに関するデータを分析して、サービス デザインの最適化などに役立てます。また、広告主が広告キャンペーンの効果を把握できるよう支援するために、ユーザーが操作した広告に関するデータ (関連する Google 検索履歴を含む) を使用します。その際、Google アナリティクスなどの各種ツールを使用します。Google アナリティクスを使用しているサイトにアクセスしたりアプリを使用したりした場合、Google アナリティクスの顧客の設定により、Google は、Google の広告サービスを利用している他のサイトやアプリでのお客様のアクティビティと、Google アナリティクスを利用している当該サイトやアプリでのお客様のアクティビティに関する 情報を関連付ける ことがあります。
--	--

	ユーザーの皆さまとのコミュニケーション【①のみ】 Google は、収集したユーザーのメールアドレスなどの情報を、直接ユーザーにご連絡を差し上げるために使用します。たとえば、お客様の Google アカウントに通常と異なる場所からログインしようとするなどの不審なアクティビティが検知された場合、お客様に通知をお送りすることがあります。また、Google のサービスの変更や改良を行う予定についてお知らせすることもあります。他方、お客様から Google の方にご連絡があったときは、お困りの問題の解決に役立てられるよう、いただいたリクエストを記録しておきます。 Google、Google のユーザー、一般の人々の保護 Google は、収集した情報を Google のサービスの安全性と信頼性を向上させる取り組みに使用します。こうした取り組みには、Google、Google のユーザー、もしくは一般の人々に害を及ぼすおそれのある不正行為、不正使用、セキュリティリスク、または技術的な問題の検知、防止、対応などがあります。 こうした目的のため、さまざまな技術を使用してお客様の情報を処理します。カスタマイズした検索結果、カスタマイズされた広告、お客様の Google サービスの利用方法に合わせて提供されるその他の機能などを提供するために、お客様のコンテンツを解析する自動システムを使用しています。また、スパム、マルウェア、違法コンテンツといった不正使用の検知に役立てるためにお客様のコンテンツを解析します。さらに、データのパターンを認識するためにアルゴリズムも使用します。たとえば、Google 翻訳では、お客様が入力したさまざまな語句に共通する言語パターンを検知して、言語の壁を超えたコミュニケーションを支援しています。 Google は上記の目的のために、Google の各種サービスやお客様の各デバイスから収集した情報を使用することがあります。たとえば、お客様の設定内容によっては、YouTube でギタリストの動画を再生すると、その後 Google の広告サービスを利用しているサイトにアクセスしたときにギターレッスンの広告が表示されることがあります。アカウントの設定内容によっては、Google のサービスおよ
--	--

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		び Google が配信する広告の質を高めるため、他のサイトやアプリでのお客様のアクティビティがお客様の個人情報と関連付けられることもあります。 他のユーザーがお客様のメールアドレスやお客様個人を特定するその他の情報をすでに持っている場合、当該ユーザーに対し、一般公開されているお客様の Google アカウント情報（お客様の名前や写真など）を表示することがあります。そうすることで、たとえば、受け取ったメールがお客様からのものであることがわかりやすくなります。 このプライバシーポリシーに記載していない目的にお客様の情報を使用する場合は、事前にお客様の同意を求めます。
1-2-2. 〔1-2-2〕 ※下線部補足	青少年や高齢者等の脆弱な個人の利用者情報の取扱いに係る配慮	※青少年・<u>こども</u>や高齢者等の脆弱な個人の利用者情報について、特に、ターゲティングやプロファイリングに利用しない、<u>プライバシーポリシー等で説明方法を工夫している、ペアレンタルコントロールを設定している等、通常の成人とは異なる配慮を行っている場合には、どのような取組を行っているかについてご記載ください。また、この場合、脆弱な個人であることをどのように判断しているか(年齢確認の手法など)についてもご記載ください。</u> 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 ①、②、③の差異：特定の記載が無い限り、①、②、③の回答は同じです。 Google は、年齢に関係なくすべてのユーザーに平等な保護を適用します。未成年者に対しては、以下のような特別な保護を適用します。Google は、ユーザーが未成年者であるかどうかを判断するために、年齢保証対策を実施しています。 2025 年 1 月に、子どもと 13 歳以上の未成年者を対象とする広告ポリシーを更新しました。新しいポリシーは、透明性を高め、広告主様が未成年者の保護対策とそれらの保護対策が広告配信に与える影響を明確に理解し把握できるように改定されています。詳細

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

については、[子どもと 13 歳以上の未成年者に関する広告ポリシーの更新（2025 年 1 月）](#)をご参照ください。

さらに、[ファミリー リンク プライバシー ガイド（18 歳（さい）未満（みまん）のお子様向け）](#)をご参照ください。

【参考】Google 広告ポリシーヘルプ、[子どものための広告配信保護対策](#)：

Google の各種サービスで提供される広告エクスペリエンスは、すべてのユーザーにとって便利かつ有用で、何よりも安全であることが重要です。だからこそ Google は、Google サービスに表示される広告のコンテンツが子どもに悪影響を与えないように保護する対策を取っています。

Google の「子どものための広告配信保護対策に関するポリシー」では、子どもに対して次のような安全保護対策を講じています。

- 広告のパーソナライズを無効にする
- デリケートな広告カテゴリの広告配信を制限する

子どもに対しては、既存の[ポリシー](#)で配信が禁止されている広告に加え、下記のカテゴリに分類される広告についても配信を制限する場合があります。~~2023 年 12 月現在~~、こうした制限は、YouTube、Google ディスプレイ広告、ディスプレイ & ビデオ 360 に適用されています。適用範囲は他のサービスにも徐々に拡大されます。

制限付きのカテゴリと禁止コンテンツ

次の広告カテゴリとコンテンツは、Google で一般的に許可されている場合でも、子どもに対する配信が全世界で制限されています。

アルコール、タバコ、危険ドラッグ；ギャンブル、カジノ；13 歳以上の未成年者と大人向けのメディア コンテンツ；危険なコンテンツ；投機的金融商品；美容、化粧品；身体改造、減量；食品、飲料；健康、フィットネス；医薬品、サプリメント；コンテスト、懸賞；モバイル関連サービスの定期購入；ソーシャル ネット

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

	ワーク；スパイ行為、逮捕記録；クイズ；ビデオゲームのスキンやガチャ；大人向けの仮想空間チャットルーム；占星術、オカルト、超常現象；政治/宗教/デリケートな社会問題；性的なものを暗示する成人向けコンテンツ；出会い系、交流サイト；恋愛に関するコンテンツ；過度な肌の露出；格闘技、武術；ファーストパーソンシューティングゲーム、戦闘ゲーム；衝撃的なコンテンツ、恐怖を感じさせるコンテンツ；等。 【中略】 Google サービスをご利用の際は、Google 広告のすべてのポリシーはもちろん、現地の法的要件（18 歳未満のユーザー向けの広告配信に関するあらゆる規制など）も必ず遵守していただくようお願いいたします。 【参考】Google 広告ポリシーヘルプ、13 歳以上の未成年者を対象として広告配信保護対策： 次のカテゴリは、Google で一般的に許可されている場合でも、デジタル同意年齢に達しているがても、18 歳未満であるユーザーの Google アカウントでは、全世界で制限されます。 性的なものを暗示する成人向けコンテンツ；18 歳以上向けのメディア；アルコール、タバコ、危険ドラッグ；身体改造、減量；コンテスト、懸賞；危険なコンテンツ；出会い系、交流サイト；ギャンブル、カジノ；医薬品、サプリメント；衝撃的なコンテンツ；投機的金融商品；スパイ行為、逮捕記録；大人向けの仮想空間チャットルーム；等。 【参考】Google 広告ポリシーヘルプ、カスタマーマッチのポリシー： 広告主は、13 歳未満の顧客の情報、または 13 歳未満向けのウェブサイトやアプリから収集した情報をアップロードすることは禁止されています。 【参考】Google 広告ポリシーヘルプ、広告と子供向けコンテンツ： 広告主様向けのポリシー
--	---

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		広告主様は、適用されるすべての法律と規制を遵守する必要があります。 広告主様は、子ども向けと指定されたコンテンツにおいて、パーソナライズド広告を掲載してはならず、第三者トラッカーやそれ以外の方法を使って個人情報の収集を試みてもいけません。 子どもを対象とした広告や、子ども向けと指定されたコンテンツに配信する広告は、想定されたユーザーにとって虚偽、不当、不適切であってははいけません。
1-3. [1-3]	利用者情報の第三者提供の状況	① ② ③ ※②、③については、①との差異についてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 ①、②、③の差異：ありません。 ユーザーは、Google のサービスを利用するときに、下記の内容が明記されたプライバシーポリシーに同意の上で、利用を開始します。下記プライバシーポリシー該当箇所をご参照ください。 【プライバシーポリシー、Google によるお客様の情報の共有から】 Google は、以下の場合を除いて、ユーザーの個人情報を Google 以外の企業、組織、個人と共有することはありません。 ユーザーの同意を得た場合 Google は、ユーザーの同意を得た場合に、Google 以外の者と個人情報を共有します。たとえば、お客様が Google Home から予約サービスでレストランを予約した場合、お客様の許可を得たうえでお客様のお名前や電話番号をレストランと共有します。また、Google アカウント内のデータへのアクセス権を付与した第

	<u>三者のアプリとサイトを確認して管理</u>できるようにしています。Google では、<u>機密性の高い個人情報</u>を共有する場合は、ユーザーに明示的な同意を求めます。 外部処理の場合 Google は、Google の<u>関連会社</u>およびその他の信頼できる企業または個人に対し、個人情報を Google のために処理させる目的で当該個人情報を提供します。その場合、当該関連会社、企業、または個人は、Google の指示に基づき Google のプライバシー ポリシーならびにその他の適切な機密保持およびセキュリティの方策に従って当該処理を行います。たとえば、<u>データセンターの運用、プロダクトやサービスの配信、社内ビジネスプロセスの改善、顧客やユーザーへの追加サポートの提供をサービス プロバイダに委託することがあります。</u>また、<u>YouTube 動画コンテンツの公共の安全に対する審査や、Google の音声認識技術の向上を目的に保存されているユーザーのサンプル音声の分析、視聴も Google ではカスタマーサポートの提供をサービス プロバイダーに委託することがあります。</u> 法律上の理由の場合 Google は、個人情報へのアクセス、使用、保存、または開示が以下の理由で合理的に必要なと誠実に判断した場合、その情報を Google 以外の者と共有します。 ● 適用される法律、規制、<u>法的手続きまたは強制力のある政府機関の要請</u>に応じるため。政府から受けた要請の数と種類についての情報は、Google の<u>透明性レポート</u>で開示しています。 ● 違反の可能性の調査など、適用される利用規約の遵守徹底を図るため。 ● 不正行為、セキュリティや技術上の問題について検知、防止またはその他の対処を行うため。 ● <u>法律上の義務に応じて、または法律上認められる範囲内で、</u>Google、Google <u>ユーザー</u>、または一般の人々の権利、財産、または安全に害が及ぶことを防ぐため。 Google は、<u>個人を特定できない情報</u>を公開する、または Google のパートナー
--	--

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		(サイト運営者、広告主、デベロッパー、権利者など) と共有することがあります。たとえば、Google サービスの一般的な利用傾向がわかる情報を公開します。また、特定のパートナーに、広告および測定の目的でパートナー自身の Cookie や類似の技術を使用してユーザーのブラウザまたはデバイスから情報を収集することを許可しています。 Google が合併、買収、または資産譲渡の対象となった場合、Google は引き続きユーザーの個人情報の機密性が保持されるよう取り計らい、個人情報が譲渡される前、または別のプライバシーポリシーの適用を受けるようになる前に、対象のユーザーに通知します。
1-4. [1-4]	広告ビジネスモデルへの利用者情報の活用状況	① ② ③ ※②、③については、①との差異についてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 ①、②、③の差異：特定の記載が無い限り、①、②、③の回答は同じです。 Google はユーザーから共有されたデータをもとに Google のサービスを提供、維持、改善し、新しいサービスを開発しています。ユーザーご自身によるプライバシー管理によって、パーソナライズされたコンテンツ、広告を含めたサービスの提供に利用することができますようになります。Google がユーザーに広告を出すために利用する情報は、広告設定からユーザーご自身で管理することができます。また、ユーザーは広告主からの情報に基づいてパーソナライズド広告を目にすることがあるかもしれません。例えば、広告主のサイトで商品を購入したのであれば、広告主はサイトを訪問した情報を利用し広告を表示することができます。

①：

【マイ アド センター ヘルプ、[マイ アド センターを使ってみるのご利用方法](#)から】

マイ アド センターとは

マイ アド センターでは、~~広告のカスタマイズとプライバシー設定の管理を行うこと~~で、検索や YouTube、~~Discover~~などの Google サービスに表示される広告をより細かく詳細に管理できます。広告のカスタマイズとプライバシー設定のこの管理は、表示される広告から直接することも、またはマイ アド センター内で行うことができます。

マイ アド センターのパーソナライズドされた広告を表示するかどうかを管理する

マイ アド センターでは、パーソナライズドされた広告を表示するかどうかを簡単に管理できます。Google サービスでのパーソナライズドされた広告のオン/オフは、いつでも切り替えることができます。

パーソナライズドされた広告をオンにすると、ご自身の情報とマイ アド センターで選択した情報が、ご自身の関心に沿った商品またはブランドを見つける際の**広告表示**に使用されるため、より関連性の高い広告が表示されるようになります。

パーソナライズドされた広告をオフにすると、Google アカウントに保存されている情報やとアクティビティと、マイ アド センターで選択した**内容情報**が広告の表示に使用されなくなります。代わりに、~~広告は、コンテキスト（時間帯、閲覧中の動画、ウェブサイト、アプリのトピックなどの一般的な要素）~~に基づいて**広告**が表示されます。

【中略】

広告は、マイ アド センターの [\[広告のカスタマイズ\]](#) タブでカスタマイズできます。~~するか、~~一部の Google サービスでは、表示される広告上で直接カスタマイズすることもできます。

パーソナライズド広告を表示するために Google が使用する情報を管理する

マイ アド センターでは、パーソナライズド広告を表示するために Google が使用する、次のような情報を管理、更新することができます。

○ Google アカウントの情報

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

	○ 広告の表示に使用されるカテゴリ ○ 広告の表示に使用されるアクティビティ ○ Google を使用した地域 パーソナライズされた広告の表示に Google が使用する情報は、マイ アド センターの [プライバシーの管理] タブで管理できます。 ②、③： 【マイ アド センター ヘルプ、パーソナライズド広告の仕組みから】 <u>Google アカウントからログアウトしている場合</u> Google アカウントにログインしていない場合は、広告設定がデバイスまたはブラウザに保存されます。Google アカウントからログアウトしているときにパーソナライズド広告をオンまたはオフにすると、その変更をどこで行ったかにより、表示される広告への影響が異なります。Google アカウントからログアウトしている場合、以下の手順で、パーソナライズド広告をオンまたはオフにすることができます。 【スクリーンショット】 ログインしていない場合の広告設定：
--	---

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

	 The screenshot shows the 'Google Ad Settings' page for 'Search'. The title is 'カスタマイズされた広告の設定' (Customized Ad Settings). There are three tabs: '検索' (Search), 'YouTube', and 'ウェブ' (Web). The '検索' tab is selected. A blue box contains the text: 'ログインしてマイ アド センターを使用することで、ログインしているすべてのブラウザやデバイスで Google に表示される広告をカスタマイズできます。' (By logging in to my Ad Center, you can customize the ads shown on Google across all your browsers and devices). Below this, a message states: 'このブラウザまたはデバイスでは、これらの設定が適用されます。 ログインすると、お使いのすべてのブラウザとデバイスでのパーソナライズド広告の設定を管理できます' (On this browser or device, these settings will be applied. When you log in, you can manage your personalized ad settings across all your browsers and devices). A toggle switch for 'Google に表示されるパーソナライズド広告' (Personalized ads shown on Google) is turned on. Below the toggle, it says 'Google 検索と Google マップの使用時に、より関連性の高い広告が表示されます' (When using Google Search and Google Maps, more relevant ads will be shown). A link 'パーソナライズド広告の仕組みを確認' (Learn more about personalized ads) is provided. At the bottom, a note says 'Google では、広告業界のプライバシー基準を遵守しています。 広告が表示される理由' (Google follows advertising industry privacy standards. See why ads are shown to you).
	 The screenshot shows the 'Google Ad Settings' page for 'YouTube'. The title is 'カスタマイズされた広告の設定' (Customized Ad Settings). There are three tabs: '検索' (Search), 'YouTube', and 'ウェブ' (Web). The 'YouTube' tab is selected. A blue box contains the text: 'ログインしてマイ アド センターを使用することで、ログインしているすべてのブラウザやデバイスで Google に表示される広告をカスタマイズできます。' (By logging in to my Ad Center, you can customize the ads shown on Google across all your browsers and devices). Below this, a message states: 'このブラウザまたはデバイスでは、これらの設定が適用されます。 ログインすると、お使いのすべてのブラウザとデバイスでのパーソナライズド広告の設定を管理できます' (On this browser or device, these settings will be applied. When you log in, you can manage your personalized ad settings across all your browsers and devices). A toggle switch for 'YouTube でのカスタマイズされた広告' (Personalized ads on YouTube) is turned on. Below the toggle, it says 'YouTube でより関連性の高い広告が表示されます' (More relevant ads will be shown on YouTube). A link 'パーソナライズド広告の仕組みを確認' (Learn more about personalized ads) is provided. At the bottom, a note says 'Google では、広告業界のプライバシー基準を遵守しています。 広告が表示される理由' (Google follows advertising industry privacy standards. See why ads are shown to you).

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		
1-5. [1-5]	利用者のプロファイリング（目的、利用する情報等）・セグメント化状況	① ② ③ ※②、③については、①との差異についてご記載ください。差異がない場合は、その旨ご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 ①： 【プライバシーポリシー、Google がデータを収集する目的から】

	コンテンツや広告など、カスタマイズしたサービスの提供 Google は、Google のサービスを個々のお客様に合わせてカスタマイズするために、収集した情報を使用します。たとえば、おすすめ情報を表示する、カスタマイズしたコンテンツを表示する、カスタマイズした検索結果を表示するなどの目的で使用します。たとえば、セキュリティ診断では、お客様がどのような方法で Google サービスを利用しているかに応じてセキュリティのヒントを提供します。また、お客様の設定内容によっては、Google Play でおすすめの新しいアプリを表示するために、お客様がそれまでにインストールしたアプリや YouTube で再生した動画などの情報が使用されることがあります。 お客様の設定内容により、Google は、お客様が関心をお持ちの事柄や各種 Google サービスでのアクティビティに基づいてパーソナライズド広告を表示することもあります。たとえば、「マウンテンバイク」というキーワードで検索すると、YouTube でスポーツ用品の広告が表示されることがあります。Google による広告表示にどの情報が使用されるかは、お客様自身がマイアドセンターの広告設定画面で管理できます。 ● なお、人種、宗教、性的指向、健康状態など、機密性の高いカテゴリに基づいてカスタマイズされた広告を表示することはありません。 ● ドライブ、Gmail、フォトのコンテンツに基づいてカスタマイズされた広告を表示することはありません。 ● お客様からご依頼がない限り、お客様のお名前、メールアドレスなど、お客様を個人として特定できる情報を広告主と共有することはありません。たとえば、付近のフラワーショップの広告が表示され、お客様が [タップして通話] ボタンをタップした場合に、Google では通話を接続する際にお客様の電話番号をフラワー ショップと共有することがあります。 【Google 広告ポリシーヘルプ、パーソナライズド広告から】 パーソナライズド広告のターゲティング機能に基づく制限 このポリシーの目的上、パーソナライズド広告に関するこのポリシーは、使用されているターゲティング機能に応じて異なる方法で適用される場合がありますよて適用のされ方が異なります。ターゲティング機能では、2 つの要素が考慮され
--	--

ます。

- ~~ユーザーの~~ターゲティングユーザー：広告の表示対象または広告の表示対象として選択されたユーザーのグループを指します。「ターゲティング」（非除外ターゲティングとターゲット除外の両方）には、~~このような、その~~グループの作成または選択に関するすべての側面を含みます。
- ~~商品製品~~とサービスの宣伝：広告内またはランディングページ上の特定のコンテンツを指します。

~~利用可能なパーソナライズの種類は、宣伝している商品またはサービスがデリケートなものであるかどうかによって一部異なります。ターゲティング機能が、広告主様が選択されたオーディエンスであるか、事前定義された Google オーディエンスであるかによって、パーソナライズ広告のデリケートな情報に該当するインタレストカテゴリが、製品とサービスの宣伝に適用される場合と適用されない場合があります。~~

- パーソナライズド広告のターゲティング機能すべてに関して、デリケートな情報に該当するインタレストカテゴリをもとにユーザーをターゲティングすることは許されません。
- 広告主様が選択されたオーディエンスでは、広告主様が自らのオーディエンスをカスタマイズ、選択、またはアップロードできます。この場合、デリケートな情報に該当するインタレストカテゴリの製品とサービスを宣伝することも許されません。
- 事前定義された Google オーディエンスでは、Google サービス全体の情報に基づいてポリシーに準拠したオーディエンスの作成と選択が行われます。この場合、広告主様はデリケートな情報に該当するインタレストカテゴリの製品とサービスを宣伝することができます。

ポリシーの要点: パーソナライズド広告向けのオーディエンス

デリケートな情報に該当するインタレストカテゴリに属する製品とサービスは、広告主様が選択したオーディエンスに対して宣伝することはできません。これにより、デリケートな情報に該当するインタレスト カテゴリが、オーディエンスの

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

ターゲティングに誤って使用されることを回避できます。事前定義された Google オーディエンスは、デリケートなユーザーシグナルを含まないよう明示的に設定されているため、デリケートな情報に該当するインタレストカテゴリを宣伝する広告主様を含め、すべての広告主様が使用できます。以下に記載したターゲティング機能の例示列举と、パーソナライズド広告のポリシーの適用方法をご参照ください。

広告主様が選択したオーディエンス	事前定義された Google オーディエンス
広告主様がデリケートな情報に該当するインタレスト カテゴリに属する商品とサービスを宣伝する場合、次のターゲティング機能を使用することはできません。	広告主様（デリケートな情報に該当するインタレスト カテゴリに属する商品とサービスを宣伝する広告主様も含む）は、次のターゲティング機能を使用することができます。
 カスタマー マッチ	 購買意向の強いセグメント
 データ セグメント	 アフィニティ
 オーディエンス拡張	 ユーザー属性（例外を含む） ¹
 類似セグメント	 詳しいユーザー属性（例外を含む） ¹
 カスタム セグメント	 ライフイベント
 カスタム アフィニティ	 地域ターゲティング ²

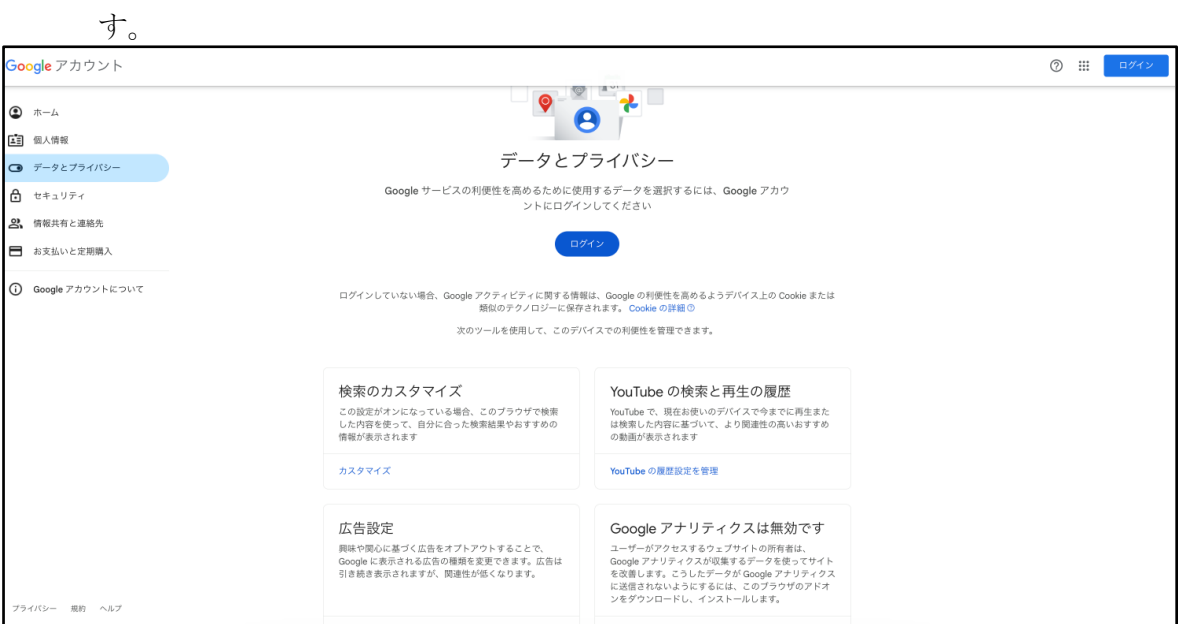
②、③：

上記 1-4 で述べたように、ユーザーはログインしていないときでもパーソナライズド広告の表示・非表示を変更できます。

【参考】ログインしていない場合の[データとプライバシー](#)ページから：

ログインしていない場合、Google アクティビティに関する情報は、Google の利便性を高めるようデバイス上の Cookie または類似のテクノロジーに保存されま

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		
1-6. 〔1-6〕	非ログイン時に取得した情報のアカウント情報への紐付けの有無及びプライバシーポリシー等での記載状況	② ※アカウントを保有している利用者が、非ログインでサービスを利用した場合に取得した情報を、当該利用者の保有するアカウントと紐付けているか否か、紐付けている場合にはプライバシーポリシーにその旨をどのように記載しているかについてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 【プライバシーポリシー、Google が収集する情報から】 お客様が Google アカウントにログインしていないときは、お使いのブラウザ、アプリケーション、またはデバイスに関連付けられた固有 IDによって収集した情

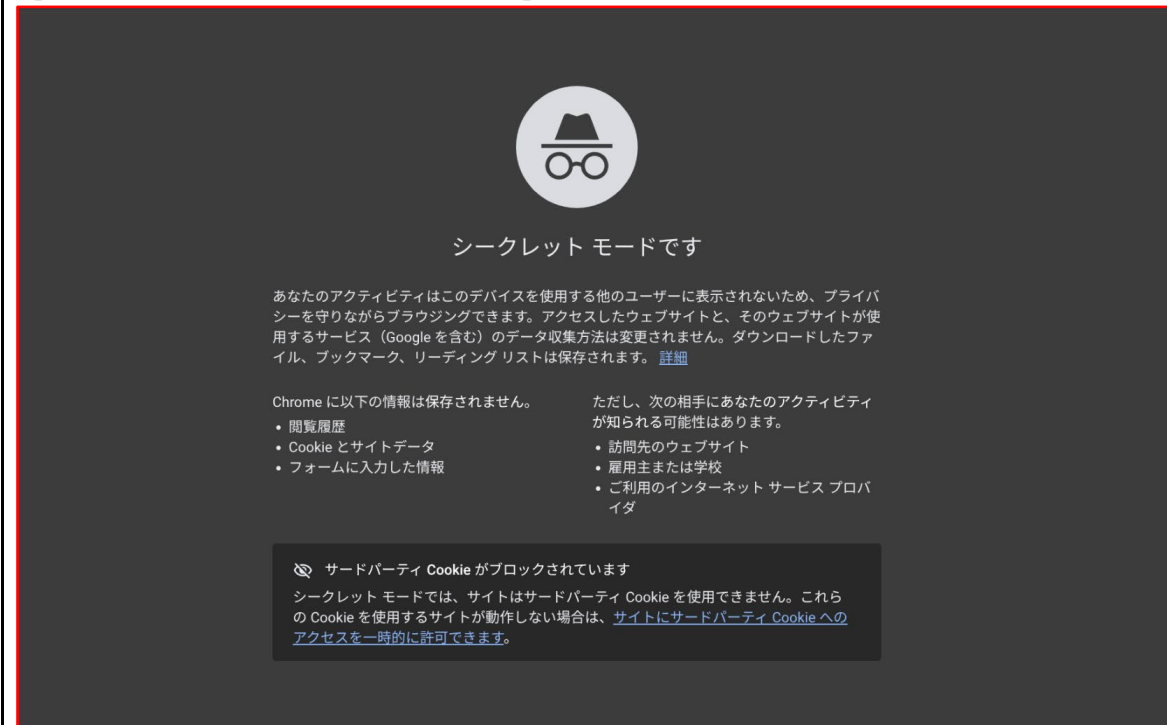
凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

	報を保存します。これは、たとえばブラウザで次回以降のセッションでもご指定の言語設定や、より関連性の高い検索結果または広告を表示するかどうかなどの設定を保持するために役立ちます。 また、ユーザーがログインしているか否かに関わらず自分の情報を管理、確認、更新できる方法について、当社のプライバシー ポリシー (お客様によるプライバシー管理) で以下のように説明しています。 【プライバシーポリシー、お客様によるプライバシー管理から】 情報の管理、確認、更新 ログイン中いつでも、お使いのサービスにアクセスして情報を確認、更新できます。たとえば、Google フォトと Google ドライブはいずれも、お客様が Google サービスを使用して保存した特定の種類のコンテンツを管理できるように作られています。また、ご自分の Google アカウントに保存された情報を確認、管理できる場所もご用意しています 【中略】 ログインしていないときは、ブラウザやデバイスに関連付けられている、以下のような情報を管理できます。 ● ログアウト時の検索のカスタマイズ: より関連性の高い検索結果やおすすめ情報を表示するために検索アクティビティを使用するかどうかを選択できます。 ● YouTube の設定: YouTube 検索履歴および YouTube 再生履歴の一時停止と削除ができます。 ● 広告設定: Google のサイトで、また Google と提携して広告を表示するサイトやアプリで表示される広告についての設定を管理できます。 ユーザーは、Chrome のシークレットモード等のプライベートモードでインターネットをブラウジングすることができます。シークレット モードを使用すると、デバイスを
--	---

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

共有する他のユーザーに知られずにブラウジングできます。Chrome のシークレットモードでのブラウジングは、デフォルトでどのアカウントやサイトにもログインしない状態で開始されます。シークレットモードの[ヘルプページ](#)（**Chrome のシークレットモードでブラウジングのプライバシーが保護される仕組み**）で説明されているように、シークレットモードの使用中に Gmail などの Google サービスやサイトにログインすると、シークレットモード中のアクティビティがそのサイトで記録されることがあります。

【Chrome のシークレット ウィンドウ】



【Google Chrome ヘルプ、[Chrome のシークレット モードでブラウジングのプライバシ](#)

ーが保護される仕組みから】

シークレット モードを使用すると、デバイスを共有する他のユーザーに知られずにブラウジングできます。

シークレット モードの仕組み

新しいシークレット ウィンドウを初めて開くと、新しいシークレット ブラウジングセッションが作成されます。それ以降に開いたシークレット ウィンドウは、すべて同じセッションとして扱われます。開いているシークレット ウィンドウをすべて閉じると、シークレット **モード** セッションを完全に終了できます。

シークレット モードでは、閲覧履歴、[Cookie](#)、サイトデータ、フォームに入力した情報はデバイスに保存されません。つまり、アクティビティは **Chrome** ブラウザの履歴に表示されず、デバイスを共有する他のユーザーに知られることもありません。ログインしない限り、ウェブサイトでは新しいユーザーとして認識され、誰がアクセスしているかはわかりません。

Chrome のシークレット モードでのブラウジングは、デフォルトでどのアカウントやサイトにもログインしない状態で開始されます。

学校、インターネット サービス プロバイダ、または保護者の追跡ソフトウェアでは、アクティビティが記録される可能性があります。その可能性を確かめるには、[Chrome ブラウザが管理対象かどうかを確認](#)してください。

シークレット モードでは、サードパーティ **Cookie** はデフォルトでブロックされます。サードパーティ **Cookie** を使用するサイトが想定どおりに動作しない場合は、そのサイトに対してサードパーティ **Cookie** を一時的に許可してみてください。

[特定のサイトに対してサードパーティ **Cookie** を一時的に許可する方法について](#)
~~新しいシークレット ウィンドウを開くときに、サードパーティの **Cookie** をブロックするよう選択できます。~~**Cookie** について

	シークレットモードでプライバシーが保護される仕組み シークレットモードでできること ● シークレットモードでブラウジングする場合、アクティビティ データはデバイスやログインしていない Google アカウントには保存されません。 ○ たとえば、シークレットモードを使用すると、デバイスを共有している家族の誕生日プレゼントを内緒でオンライン購入できます。Google アカウントにログインしていない場合、ショッピングアクティビティは Chrome の閲覧アクティビティに表示されず、Google アカウントにも保存されません。 ● シークレット ウィンドウをすべて閉じると、そのブラウジング セッションに関連付けられているサイトデータと Cookie はすべて破棄されます。 ● シークレットモードでブラウジングしている場合、そのことが Chrome からウェブサイトや Google に知らされることはありません。 シークレットモードでできないこと ● ウェブサイトに誰がアクセスしているかを知られないようにします。シークレットモードでウェブサイトにログインすると、サイトでユーザーの情報が認識され、その時点からアクティビティの追跡が可能になります。 ● アクセスしたウェブサイトやそれらのウェブサイトが使用するサービス、学校、雇用主、インターネット サービス プロバイダに、アクティビティや場所を知られないようにします。 ● アクセスしたウェブサイトで、シークレットセッション中のアクティビティに基づいた広告が配信されないようにします。シークレット ウィンドウをすべて閉じると、ウェブサイトはそのセッション中のログアウトした状態でのアクティビティに基づいた広告を配信できなくなります。 シークレットモードでは、デバイス上でプライバシーがローカルに保護されますが、プライバシー ポリシーに記載されているとおり、ユーザーが他のプロダクトやサービスを使用する際に Google がデータを収集する方法には影響しません。
--	--

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		ユーザーが設定可能 ● ブラウジングの最後には、シークレット ウィンドウとタブをすべて閉じます。シークレット ウィンドウをすべて閉じることで、セッションが完全に終了するため、タブを1つだけ閉じていてもデータは破棄されません。パソコンではシークレット アイコンの横、モバイル デバイスではブラウザの下部に数字が表示されている場合、複数のシークレット ウィンドウまたはタブが開いています。 ● シークレット モードの使用中に任意のアカウントにログインできます。Gmail などの Google サービスやサイトにログインすると、そのサイトでアクティビティが記録されることがあります。 ● デバイスに保存したくないダウンロードやブックマークは削除します。ダウンロードしたファイルや作成したブックマークは、どのモードでも保存されます。
2. 利用規約・プライバシーポリシー ※以下の3つのパターン間での差異について回答すること。内容に差異がない場合は、前の回答と同じ等の方法で回答すること（例：①と同じ等）。 ①アカウントを保有している利用者が、ログインしてサービスを利用・閲覧する場合 ②アカウントを保有している利用者が、ログインせずにサービスを利用・閲覧する場合 ③アカウントを保有していない利用者が、サービスを利用・閲覧する場合		
プライバシーポリシー等		
2-1. [2-1] ※下線 部補足	利用者情報の取扱いに係るプライバシーポリシーでの記載箇所	① ② ③ ※①～③での利用者情報の取扱い(取得する情報の内容、利用目的、共有先等)の差異について、プライバシーポリシーにおいてどのように書き分けているか、記載箇所をお示しください。また、ログインせずに利用する場合や、アカウントを保有せず利用す

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

る場合であっても、利用者情報を取得・利用することがある旨をプライバシーポリシーにおいて明示している場合には、その箇所を具体的にお示しください。

※プライバシーポリシーのほか、アカウントを保有していない利用者に対して、利用者情報の取扱いについて説明を行っている場合は、説明の方法と説明の内容をご記載ください。

昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。

①、②、③の差異：特定の記載が無い限り、①、②、③の回答は同じです。

【プライバシーポリシー、[Google が収集する情報](#)から】

お客様が Google のサービスを利用する際に Google が収集する情報の種類について

Google は、すべてのユーザーによりよいサービスを提供するために情報を収集します。お客様の使用言語といった基本的な事項を理解することや、お客様にとって最も役に立つ広告はどの広告か、[インターネット上で重要な相手](#)は誰か、おすすめの YouTube 動画はどれか、などの複雑な事項を推定することが含まれます。Google がどの情報を収集するか、その情報がどのように使用されるかは、お客様がどのように Google のサービスを利用するか、プライバシー設定をどのように管理するかによって変わります。

②③：

お客様が Google アカウントにログインしていないときは、お使いのブラウザ、アプリケーション、または[デバイス](#)に関連付けられた[固有 ID](#)によって収集した情報を保存します。これは、たとえばブラウザで次回以降のセッションでもご指定の言語設定や、より関連性の高い検索結果または広告を表示するかどうかなどの設定を保持するために役立ちます。

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

①：

お客様がアカウントにログインしているときは、お客様の Google アカウントに保存する情報も収集します。この情報は[個人情報](#)として取り扱われます。

③：

プライバシー ポリシーのほかにも、アカウントを保有していない利用者は、[広告設定ページ](#)、[データとプライバシーページ](#)、及び [Google セーフティセンター](#) で利用者情報の取り扱いに関する情報を得ることができます。なお、[プライバシー診断](#)を行うことで、Google アカウントを保有していない利用者也プライバシー設定をすることができます。（スクリーンショット参照）



凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

2-2. [2-2]	サービス利用開始前の利用者への 示し方、通知/同意取得の方法 (導線、ステップ数等)	① ② ③ ※アカウントの作成時や、サービスの利用開始にあたり、あらかじめプライバシーポリシーを確認できるようになっているか、プライバシーポリシーへの導線がどのようになっているか、通知ベースでの提示のみか同意取得まで行っているのか、同意画面までのステップ数がどの程度かについてご記載ください。ステップについては、対象サービスのトップページからのクリック数をご記載いただき、そのクリックごと(画面遷移を伴わず、メニュー開閉のみの場合を含む。)の画面表示のスクリーンショットを添付ください。また、①～③のそれぞれについて、通知/同意取得をどのタイミングで行っているかについてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 ①、②、③の差異：ありません。 ユーザーが Google アカウントを作成する際、プライバシーポリシーへのリンクとプライバシーに関する選択肢、及びアカウント作成の流れ自体に関する明確な説明が示されます。ユーザーはアカウント作成前後いつでもプライバシーポリシーにアクセスしたり、設定を変更することができます。 アカウント設定の流れには、プライバシーポリシーの概要も含まれます。したがって、新たなアカウントを作成するすべてのユーザーがプライバシーポリシーの概要を閲覧することとなります。この方法は、プライバシー監視機関 (ICO) を含むデータ保護当局との協議を経て採用されました。 アカウント作成の流れの最後に、ユーザーは、利用規約への同意を示すボックスとは別の、「上述の [すなわち、ユーザーが選択した設定による] ユーザー情報の処理」に対する同意を示すチェックボックスにチェックすることを求められ、アカウント作成プロセス終了前にさらにプライバシーポリシーの説明が示されます。
-----------------------	---	--

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

アカウント作成時には、ユーザーにいくつかのプライバシー設定が提示され、特定の処理について説明されるとともに、パーソナライズド広告への同意など、ユーザーが選択をおこなう機会が提供されます。

ログインしていないユーザーが Google アカウントの [ページ](#) を開くと、プライバシー ポリシーとプライバシー保護に関する情報にアクセスするための複数の方法が提示されます。

以下のスクリーンショットをご覧ください。



凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す



あなた専用に

Google アカウントを使用すると、すべての Google サービスがあなた専用になります。どのデバイスからでもアカウントにログインするだけで、いつもと同じパーソナライズ設定とプライバシー管理が適用され、自分好みの設定で利用できます。

迅速なアクセス

プライバシー管理

情報を安全に保存

プライバシーに対する考え方は、人によってさまざまです。セキュリティ診断などの使いやすい機能やツールをすべての Google アカウントに組み込んで、ユーザーごとに自分に合ったプライバシー設定を選べるようにしているのはそのためです。アカウントにどのデータを保存するかもオン/オフ操作で簡単に切り替えることができ、日付、サービス、トピックごとにデータを削除することも可能です。

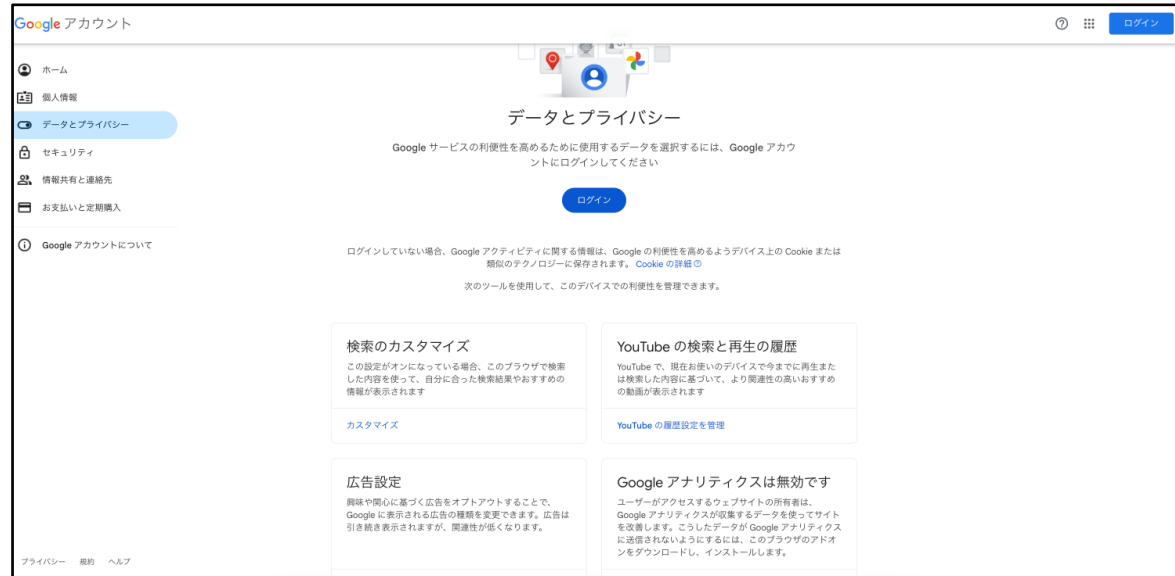


凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す



凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

画面上側の「プライバシー設定ツール」をクリックすると、[データとプライバシー](#)ページに移動します：



画面下側の「プライバシー」をクリックすると[プライバシーポリシー](#)に移動します：

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		Google ポリシーと規約 概要 <u>プライバシー ポリシー</u> 利用規約 テクノロジー よくある質問 はじめに Google が収集する情報 Google がデータを収集する目的 お客様によるプライバシーの管理 ご自分の情報の共有 お客様の情報の保護 お客様の情報の書き出しおよび削除 ユーザー情報の保持 コンプライアンスおよび規制当局との協力 このポリシーについて 関連するプライバシーへの取り組み データ転送の仕組み 主な用語  GOOGLE プライバシー ポリシー お客様が Google のサービスをご利用になる際、Google は、お客様の情報を託していただくことになります。Google はこのことに伴う重大な責任を認識し、お客様の情報を保護し、お客様がご自身の情報を管理できるようにすべく尽力しています。 このプライバシー ポリシーは、Google が収集する情報、情報を収集する理由、およびお客様がご自分の情報を更新、管理、書き出し、削除する方法について理解を深めていただくためのものです。
2-3. 【新規 質問】	プライバシーポリシー等に関する 利用者の理解度等の把握状況	※プライバシーポリシー等が利用者からどの程度読まれ理解されているかの把握の有無、その結果について(経年の推移がある場合はそれを含め)ご記載ください。また、その測定方法についてご記載ください。 ※また、利用者による理解度等の状況を踏まえどのような対応を行ったかご記載ください。 Google ではプライバシーポリシー等に関する利用者の理解度を追跡するためのシステムはありませんが、その理由として、ユーザーの行動を詳細に追跡すること（たとえば、各ページにいる時間や、どのセクションをクリックするか）も、不本意にプライバシー

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		問題を起こす可能性があるためです。そのようなアプローチとは異なり、Google は、ポリシーのデザインそのものにおいて、わかりやすさとユーザーエクスペリエンス（UX）を優先する、積極的なアプローチに尽力しています。ユーザーの理解度を事後に測定するより、最初からポリシーが理解しやすいように努力を注いでいます。プライバシーポリシーのデザインは、コンテンツデザインとユーザーインターフェースにおいて豊富な経験を持つ UX 専門チームが担当しております。弊社では複雑な法的文書を提示するのではなく、「Google が収集する情報」や「Google がデータを収集する目的」といった分かりやすいトピックごとにポリシーを整理しています。また、短い動画や、特定のポリシーや専門用語に関するより詳細な説明へのリンクも提供しております。さらに、利用者の皆様がプライバシー設定を簡単にカスタマイズできるよう、マイアドセンターやプライバシー診断などのダッシュボードやツールも提供しております。
透明性確保のための工夫		
2-4. 〔2-6-1〕 ※下線部補足	利用者情報の取扱いを分かりやすくするための考え方、工夫や対処（利用者への働きかけや情報提供、ユーザテストの実施）	① ② ③ ※②、③については非ログイン時、非アカウント保有時であっても、サービス利用に伴って利用者情報を取得・利用することについて、利用者が認識・理解できるよう、どのように説明を行っているかについてご記載ください。 ※<u>ソーシャルプラグインや JavaScript タグ、情報収集モジュールを設置したウェブサイト・アプリからの利用者情報の取得や、カスタムオーディエンス・データクリーンルームのような形で利用者情報の活用等、通常の利用者にとってなじみがなく、理解することが難しいと考えられる仕組みでの利用者情報の取得・利用について、プライバシーポリシー等で説明を行っているか、行っていればその内容が分かるように具体的にご記載ください。</u> 昨年の回答からの変更点：ありません。

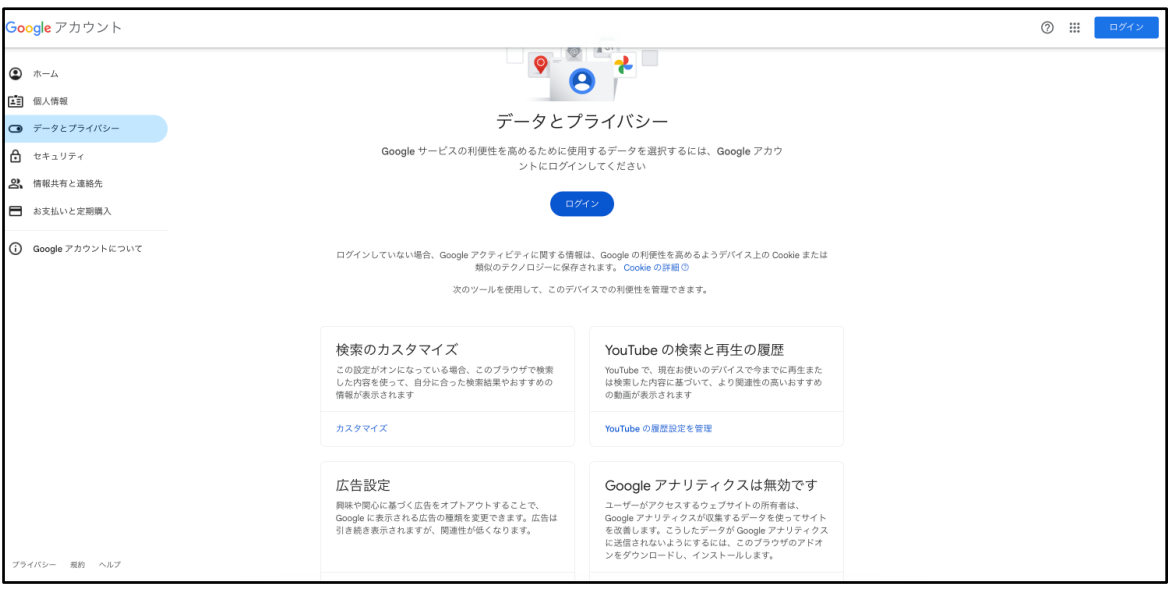
凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		①、②、③の差異：ありません。 ユーザーの理解を高めるため、Google のプライバシー ポリシーでは、画像やアニメーション動画及び主要なコンセプトをわかりやすくハイライトした説明を行っています。 Google は、プライバシーとセキュリティの設定を確認及び調整し、自動削除などのツールを利用することなど、ユーザーご自身が Google アカウントに保存されている情報を管理されることを推奨しています。 Google は、ユーザーに対してヘルプページやセーフティインターネットデーなどに合わせた取り組みを通じて、これらをお伝えしています。 Google のセーフティセンターは、より多くの情報や資料をひとつのサイトに集約し、ユーザーはデータ セキュリティ、プライバシー管理、オンラインでの安全といった重要なトピックについて学ぶことができます。
オプトアウト		
2-5-1. [2-8-1]	利用者情報の提供・利用を希望しない意思を示すオプトアウト手段の設置状況（方法、対象範囲等含む）	① ② ③ ※①については、どのような情報の取得・利用についてオプトアウトすることができるか、どのような手段でオプトアウトをすることができるようになっていないか、ご記載ください。 ※②、③については、①との差異についてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：ありません。 ①： ユーザーは、Google アカウントを作成する際に、Google と共有する情報を選択することができます。同時に、アカウント、プライバシー、セキュリティに関するいくつかの

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

	重要な設定管理項目が提示されます。アカウント作成後も、ユーザーは、https://myaccount.google.com/にある Google アカウントの一括管理用ダッシュボードを通じて、いつでも Google アカウント設定を確認し変更することができます。このツールは、デスクトップおよびモバイルのデバイス上のあらゆるブラウザを通じて使用できます。 Google のユーザーはアカウント ダッシュボードにアクセスして、特定の設定ボタンを ON または OFF にすることができます（オプトアウトとオプトイン）。例えば、ロケーション履歴は、ユーザーがサインインしたデバイスを持って訪れた場所に関する情報を Google アカウント上に保存します。これは、位置情報を収集し保存する特定の方法であり、位置情報は、Google マップ、フォト、検索を含む、Google の製品とサービスを使うにあたってユーザーに様々な利点をもたらします。 ユーザーは、これらをいつでも無効にでき（オプトアウト）、無効にした後も、Google マップ、フォト、検索を含む Google の製品やサービスを使い続けることができます。 ユーザーは、マイ アド センターにアクセスすることによって、Google がユーザーに広告を表示するために使う情報を管理することができます。 ②、③： Google はログインしていないユーザーに対し、Cookie などの技術の使用方法を管理する手段をデータとプライバシーのページで提供しています。これには、検索のカスタマイズや YouTube の検索・視聴履歴のオン / オフの切り替え、広告のカスタマイズのオプトアウトなどが含まれます：
--	--

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		
2-5-2. 〔2-8-2〕	オプトアウト設定に関する利用者に対する支援（プライバシーに配慮された設定を簡便に行う手段、わかりやすい説明等）	① ② ③ ※オプトアウト設定について、項目ごとに個別に設定ができることに加え、利用者のプライバシーへの関心の程度に応じて、ある程度一括で設定を行えるようにするなどの簡便な設定の方法を設けたり、設定内容についてわかりやすく説明したりするなど、利用者の設定を支援するような工夫があれば、ご記載ください。 ※②、③については、①との差異についてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 ①： Google はログインしたユーザーに対し、プライバシー設定のための使いやすいダッシュ

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

ボードをそのユーザーの my.account.google.com ページで提供しています（スクリーンショット参照）：

データとプライバシー ダッシュボード

Google アカウント

Google アカウントを検索

ホーム

個人情報

データとプライバシー

セキュリティ

情報共有と連絡先

お支払いと定期購入

Google アカウントについて

操作した内容、訪れた場所

履歴、広告、カスタマイズのオプションです。検索、閲覧、再生したものを確認したり、訪れた場所を調べたりすることができます。

履歴の設定

操作した内容や訪れた場所を保存するかどうかを選択できます。保存すると、より関連性の高い検索結果が表示されるようになり、マップやおすすめ情報もパーソナライズされます。

ウェブとアプリのアクティビティ ☒ オン

タイムライン ☒ オン

YouTube の履歴 ☒ オン

履歴はいつでも確認、削除できます

マイ アクティビティ マップのタイムライン YouTube の視聴履歴と検索履歴

パーソナライズド広告

Google サービスや Google のパートナーのサイトに表示される広告をカスタマイズするかどうかを選択できます

マイ アド センター

Google に表示されるパーソナライズド広告

アカウントに基づく情報を検索で利用

Google アカウントに保存されている情報に基づいて、Google 検索にアカウントに基づく情報を表示するかどうかを指定できます

☒ オン

プライバシー 規約 ヘルプ

ユーザー情報

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

プライバシー診断 ダッシュボード

Google アカウント

← プライバシー診断



主要なプライバシー設定を確認する

使用頻度の高い Google サービスに基づいています



ウェブとアプリのアクティビティの設定の確認

アクティビティを保存すると、検索の高速化、おすすめ機能の精度向上など、マップや検索などの Google サービスでさらにカスタマイズされた機能をご利用いただけるようになります。設定はお好みに合わせていつでも変更できます。

ウェブとアプリのアクティビティ

☒ オン

自動削除 (オン)

>

1/7

DEBUG PANEL

規約 ヘルプ ユーザー情報

39

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

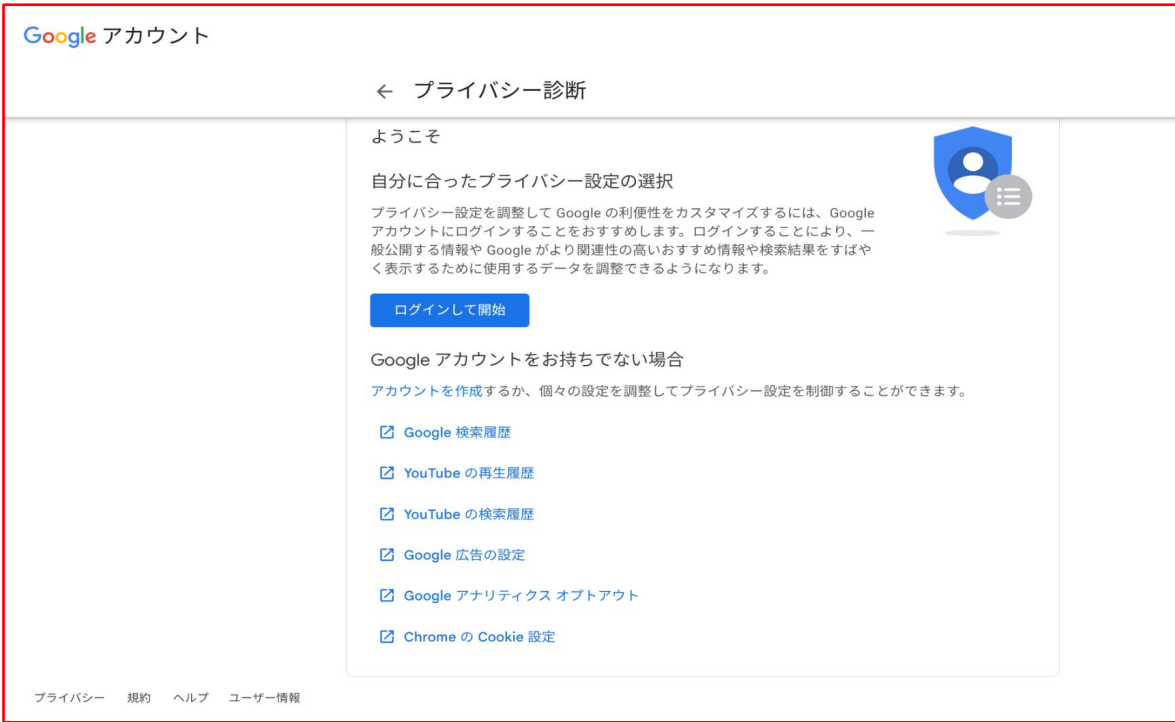


② ③:

ログインしていないユーザーは、[データとプライバシー](#)のページにある利用しやすい設定を使って、自分のデバイスに保存されているアクティビティ情報の使用方法について管理できます。上記 1-4 をご参照ください。それぞれの設定はわかりやすい言葉で説明されており、Google ヘルプセンターに掲載されているより詳細な説明へのリンクも用意されています。

なお、Google アカウントを保有していない利用者也[プライバシー診断](#)を行うことで、簡単にプライバシー設定をすることができます。（スクリーンショット参照）

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		
2-5-3. 〔2-8-3〕	アカウント登録時におけるオプトアウト手段の提示	※後からオプトアウトすることのできる項目について、アカウント登録時にあらかじめオプトアウトすることができる手段を設けているか、設けている場合にはどのような表示を行っているか、ご記載ください。 昨年の回答からの変更点：ありません。 アカウントを作成する際、ユーザーはアカウント作成を完了する前にオプトアウトすることができます（スクリーンショット参照）：

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

ウェブとアプリのアクティビティ

検索や、位置情報などの関連情報を含む、Google のサイトやアプリでのアクティビティが保存されます。また、Google サービスを使用するサイト、アプリ、デバイスからのアクティビティ（Chrome の履歴など）も保存されます。これにより、Google サービス全体で、より関連性の高い検索結果や候補が表示されるようになります。18 か月以上経過したアクティビティは自動的に削除されます。自動削除オプションの変更、アクティビティの保存の停止、アクティビティの手動での削除は account.google.com で行えます。

☒ ウェブとアプリのアクティビティを Google アカウントに保存する

☐ ウェブとアプリのアクティビティを Google アカウントに保存しない

[ウェブとアプリのアクティビティの詳細](#)

☐ 広告のカスタマイズ

Google では、Google サービス（検索、YouTube など）でのアクティビティや、Google と提携しているウェブサイトやアプリでのアクティビティに基づいて広告を表示できます。

凡例：質問中の〔 〕内の番号は2024年度ヒアリングシートの間番号を示す

	☒ パーソナライズド広告を表示する ☐ 非パーソナライズド広告を表示する 広告のパーソナライズの詳細 YouTube の履歴 YouTube での動画の再生履歴と検索履歴を保存します。この設定を有効にすると利便性が高まります（おすす機能の精度の向上、前回の再生位置の保存など）。36 か月以上経過したアクティビティは自動的に削除されます。自動削除オプションの変更、アクティビティの保存の停止、アクティビティの手動での削除は account.google.com で行えます。この設定をオフにすると、ユーザーの利便性を調整するために履歴を活用する YouTube の機能は無効になります。 ☒ YouTube の履歴を Google アカウントに保存する ☐ YouTube の履歴を Google アカウントに保存しない この設定は、現在作成中の新しい Google アカウントにログインする際に常に適用されます。 ☐ この設定について不定期のリマインダーを受け取る キャンセル 同意する	
2-6-1. [2-9-1]	オプトアウトをした場合のサービス利用継続の可否	※オプトアウトをした場合であってもサービスを継続利用できるか否か(オプトアウトの手段がない場合には、サービスを継続利用できない場合に該当します。)についてご記

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		載ください。また、サービス自体は継続利用できる場合であっても、利用できる機能に制限がかかる等、ユーザ体験が変わる点があれば、その点をご記載ください。 昨年の回答からの変更点：ありません。 ユーザーはオプトアウトをしてもサービスを継続利用できます。 上記 2-5-1 をご参照ください。
2-6-2. 〔2-9-2〕	広告への利用をオプトアウトした場合の利用者情報の取扱い（広告以外の目的での利用の有無、オプトアウトされた利用者情報の削除の実施有無等）	※例えば、ターゲティング広告での利用者情報の利用についてオプトアウトをした場合に、ターゲティング広告以外の目的で当該利用者情報が使われるなど、他の目的で利用者情報が利用されることがあるか、オプトアウトされた利用者情報については削除されるのか等、オプトアウト後の利用者情報の取扱いについてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：ありません。 【Google ポリシーと規約、Google のサービスを使用するサイトやアプリから収集した情報の Google による使用から】 広告のカスタマイズ 広告のカスタマイズが有効に設定されている場合、Google は、個々のユーザーに最適な広告を表示するためにユーザーの情報を利用します。たとえば、マウンテンバイクを販売するウェブサイトが Google の広告サービスを利用しているとします。ユーザーがこのサイトを閲覧すると、Google から広告配信を受けている別のサイトを閲覧したときに、マウンテンバイクの広告が表示される場合があります。 広告のカスタマイズを無効にしている場合、Google は、広告プロファイルの作成やユーザーに表示する広告のカスタマイズを目的としたユーザー情報の収集や利用は行いません。この場合でも、広告自体は引き続き表示されますが、個々の

	ユーザーに適した内容ではなくなる可能性があります。閲覧しているウェブサイトや使用しているアプリのトピック、現在の検索キーワード、大まかな現在地に基づく広告は表示される場合がありますが、興味や関心、検索履歴、閲覧履歴に基づく広告は表示されなくなります。ただし、前述したその他の目的（広告の効果測定や不正使用の防止など）では、引き続きユーザー情報が使用される場合があります。 Google のサービスを利用しているウェブサイトやアプリを利用したときに、Google などの広告配信会社からのパーソナライズされた広告の表示を希望するかどうかを選択するよう求められることがあります。ただし、その場合に希望すると選択した場合でも、お客様の広告カスタマイズの設定がオフになっている場合、またはお客様のアカウントがパーソナライズされた広告の配信対象外である場合は、パーソナライズされた広告は表示されません。 ユーザーは [広告設定] にアクセスして、自分への広告の表示に Google が使用する情報を確認、管理することができます。 【プライバシーポリシー、Google が収集する情報から】 ②、③： お客様が Google アカウントにログインしていないときは、お使いのブラウザ、アプリケーション、またはデバイスに関連付けられた固有 IDによって収集した情報を保存します。これは、たとえばブラウザで次回以降のセッションでもご指定の言語設定や、より関連性の高い検索結果または広告を表示するかどうかなどの設定を保持するために役立ちます。 ①： お客様がアカウントにログインしているときは、お客様の Google アカウントに保存する情報も収集します。この情報は個人情報として取り扱われます。 アカウントにログインしているユーザーは、マイアドセンターを使って、どの情報が広告のために利用されているか確認して、それを管理するか、全て削除することができます。（Google セーフティセンター、GOOGLE での広告の管理をご参照ください。）
--	--

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

2-7. [2- 11]	オプトアウトに関する通知事項、 導線、ステップ数。特に、利用者が 認知しやすくするための工夫	① ② ③ ※オプトアウトの手段を設けている場合に、オプトアウト可能であることを利用者が容易に 認知することができるよう、どのような工夫を行っているかについてご記載ください(登 録時や利用開始時に明示的に提示される、サービス利用時にポップアップで表示さ れる等)。また、オプトアウト設定画面にたどり着くまでに、どの程度のステップ数の遷 移が必要となるかご記載ください。ステップについては、対象サービスのトップページ からのクリック数をご記載いただき、そのクリックごと(画面遷移を伴わず、メニュー開閉 のみの場合を含む。)の画面表示のスクリーンショットを添付ください。 ※②、③については非ログイン時、非アカウント保有時の利用であっても、オプトアウトの 手段があることについて、利用者が理解できるよう、どのように説明を行っているかに ついてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：ありません。 ①、②、③の差異：特定の記載が無い限り、①、②、③の回答は同じです。 Google では、詳細なプライバシーポリシーを作成・公表しており、ユーザーのデータの 取扱い方法や、Google のプロダクト及びサービスにおいてユーザーのデータとプライバ シーを保護するために Google が講じている対策をユーザーにお知らせしています。 Google は、Google が収集する情報の種類、データを収集する理由、ユーザーが自身の 情報を更新、管理、ダウンロード、及び削除できる方法をユーザーが理解しやすいよう に、利用しやすいオンラインのリソース、説明手段、及び動画を開発しています。 Google が、safety.google/privacy/data 等のリソースを開発した理由は、ユーザーの情 報は保護されており、適切に管理されていることをユーザーにご理解いただきたいから
-----------------------------	---	---

	です。さらに、できるだけわかりやすくお伝えできるように、具体例、説明動画、及び主な用語の定義も追加して、ユーザーが Google の情報の取扱いに関するプラクティスにアクセスできるようにしています。 Google では、ユーザー自身のデータの閲覧・削除を容易にしています。ユーザーが、どのデータを保存し、共有し、又は削除するかについて、情報を得た上で選択できるように、Google が収集するデータの種類、及びデータを収集する理由を理解しやすいようにしています。例えば、ユーザーは、自身の Google アカウントのダッシュボードにアクセスして、利用している Google のプロダクト、及び保存しているデータの概要を見ることができます。また、「マイ アクティビティ」を使えば、ユーザーは自身の Google アカウントから直接データを見たり削除したりすることが容易に行えます。特に検索については、ユーザーに対して、検索履歴を閲覧又は削除できる方法をわかりやすく説明しています。 Google は、一般ユーザー向け製品に使用されている Chrome の Incognito モード、検索、YouTube、マップ等のプライバシー保護機能に加えて、プライバシー診断ツールも開発して、ユーザーが Google アカウントに保存されるデータの種別をわずかな時間で選択できるようにしました。ユーザーは、これらの設定を希望するだけ何度でも変更することができます。 ● ユーザーはいつでも、Google アカウントに保存されたデータの概要を表示し、データをダウンロードすることができます。 ● Google アカウントに一定期間保存されたアクティビティを自動的に削除するように選択できます。また、いつでも手動でアクティビティを削除できます。 ● Google が使用する匿名化手法により、個人に関連付けられないデータが作成されます。 最後に、Google がプライバシーポリシーに記載していない目的のためにユーザーの情報をを使用する場合は、事前にユーザーの同意を求めます。 ②、③：
--	---

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		上記 2-5-2 及び 1-4 に記載のとおり、ログインしていないユーザーは、 データとプライバシー のページで広告のカスタマイズからオプトアウトできます。
2-8. 【新規 問】	オプトアウト方式からオプトイン方式への変更の検討	※現在オプトアウト方式で取得している利用者情報を、プライバシー保護その他利用者の利益の保護の観点からオプトイン方式による取得へ変更するといった検討を行っているかご記載ください。また、過去に変更した事例があれば具体的にご記載ください。 現在、Google のすべてのサービスにおけるデフォルト情報収集方法をオプトイン方式に根本的に変更するという予定はありませんが、Google の取り組みについてより詳しくご説明させていただきます。 Google の戦略は、ユーザーの皆様は透明性、コントロール、そして有益な結果を提供することという 3 つの主要な柱に基づいています。 オプトインおよびオプトアウト方式の使用を含む、Google の現在のデータ収集方法は、日本の個人情報保護法に準拠していると考えます。 ユーザーの皆様は明確な情報と実質的なコントロールを提供することが、ユーザーの皆様は最も効果的に権限を与える方法であると信じております。例として、プライバシー診断、自動削除、製品内通知などがございます。 Google はプライバシー慣行を継続的に見直し、強化しております。例えば、広告のパーソナライズに使用されるデータに対するユーザーの皆様はより詳細な管理を可能にするため、広告設定を繰り返し更新したり、ユーザーの皆様はプライバシー保護を強化するため、同意およびデータ管理のフレームワークを更新したりしております。
データポータビリティ		

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

2-9-1. 〔2-12-1〕	データポータビリティに関する取組（データポータビリティを求める方法、対象範囲）	① ② ③ ※②、③については、①との差異についてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 ①、②、③の差異：①のみの回答となります。 Google データ エクスポート Takeout は、ユーザーにデータポータビリティに関する管理権限を提供しています。ユーザーは、Google に保存した自身のデータの最新版コピーを自身のコンピュータにダウンロードしたり、サードパーティのプロバイダーのサイトに直接ポーティングすることができます。 Google は 10 年以上前からデータポータビリティについて準備し、2011 年からポータビリティ製品を提供してきました。Google はこの課題について、常に先取りして対策を講じてきました。ユーザーは複数のサービスの中から新たなサービスを試し最も気に入った製品を選択できるようになり、その結果、サービス間の競争が促進されます。
2-9-2. 〔2-12-2〕	利用者から取得した情報をもとに行うプロファイリング等により生成したデータのポータビリティに関する取組	※利用者から直接取得した利用者情報だけでなく、直接取得した情報をもとに生成した情報（興味・関心の情報等）についてもデータポータビリティが確保されていれば、その取組についてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：ありません。 データのコピーをサードパーティと共有すると Google 以外のサービスに写真や動画をコピーするのヘルプページに記載のとおり、ユーザーは自分の Google アカウントに保存されている写真、動画、アルバム、説明文のコピーを別のサービスに転送できます。 さらに、Google データ エクスポートに記載のとおり、ユーザーは別のサービスとデータを共有する前にデータをダウンロードすることもできます。

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		いずれの場合も、ユーザーに関して推測されたデータまたは生成されたデータは含まれません。
3. 第三者や第三者の運営するウェブサイト・アプリ（以下「第三者のウェブサイト等」という。）を経由した情報収集の状況		
3-1. [3-1]	第三者や第三者のウェブサイト等を経由した情報収集の状況（収集する情報、利用目的、収集場面等）	※第三者から利用者情報の提供を受ける場合や、第三者のウェブサイト等に JavaScript タグ・情報収集モジュールを設置することによって利用者情報を取得する場合があります、そのことについてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 【Google ポリシーと規約、Google のサービスを使用するサイトやアプリから収集した情報の Google による使用から】 Google のサービスを使用するサイトやアプリから収集した情報の Google による使用 多くのウェブサイトやアプリでは Google のサービスを利用して、そのコンテンツを改善したり無料でサービスを提供したりしています。このように Google のサービスを利用するウェブサイトやアプリは Google と情報を共有します。 たとえば、広告サービス（AdSense など）や分析ツール（Google アナリティクスなど）を利用しているウェブサイトや、YouTube の動画コンテンツを埋め込んでいるウェブサイトを閲覧すると、お使いのウェブブラウザから Google に特定の情報が自動的に送信されます。このような情報には、アクセスしたページの URL やユーザーの IP アドレスなどがあります。また、ユーザーのおおよその位置を特定する、広告の効果を測定する、設定に応じて表示される広告の関連性を高めるなどの目的で、IP アドレスを使用することがあります。また、Google がお使いのブラウザに Cookie を設定したり、既存の Cookie を読み取ったりする場合があります。さらに、Google の広告サービスを利用しているアプリは、アプリの名前や広告配信用の固有の識別子などの情報を Google と共有します。

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		Google は、サービスの提供、維持、および改善、新サービスの開発、広告の効果測定、不正行為の防止、Google とパートナーのサイトやアプリに表示されるコンテンツおよび広告のカスタマイズを目的に、サイトやアプリによって共有される情報を使用します。個々の目的に沿ったデータの処理方法に関して詳しくは、Google のプライバシー ポリシーをご覧ください。Google の広告、広告配信におけるユーザー情報の利用方法、Google によるユーザー情報の保持期間に関して詳しくは、広告のページをご覧ください。 Google のプライバシーポリシーは、お客様の情報の処理について Google が依拠する法的根拠を説明しています。たとえば、お客様の同意を得て、または Google の正当な利益（ユーザーのニーズに合わせたサービスの提供、維持、向上など）を追及する目的で、お客様の情報を処理することがあります。 なお、サイトやアプリから共有される情報を Google が処理する場合、そのサイトやアプリは、Google にお客様の情報の処理を許可する前に、お客様に同意を求めます。たとえば、サイトで収集された情報を Google が処理することに同意を求めるメッセージが、サイトのバナーに表示されることがあります。その場合、Google は、Google プライバシー ポリシーに記載されている法的根拠ではなく、サイトやアプリでのお客様の同意条項に記載されている目的を遵守します。同意を変更または撤回する場合は、該当するサイトまたはアプリにアクセスして行ってください。 「Google が Cookie や同様の技術を利用する目的」もご参照ください。 また、電気通信事業法第 27 条の 12 に基づき、Google が提供する主要なタグや情報収集モジュールがウェブサイトやアプリに埋め込まれた際に Google に送信される（または送信される可能性のある）ユーザー情報と、Google の主な利用目的を記載した通知・公表のための参考情報を開示しています。
3-2. [3-2]	情報収集する第三者や第三者のウェブサイト等の基準、条件	※利用者情報の提供元となる第三者や、情報収集モジュールを設置する第三者のウェブサイト等について、一定の条件を設けている場合には、その条件についてご記載く

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		ださい。例えば、信条・健康情報等の要配慮情報を含む情報が提供される可能性がある第三者からは提供を受けない、JavaScript タグ・情報収集モジュールの設置により送信される情報により、要配慮情報がプロファイリングされる可能性がある第三者のウェブサイト等には JavaScript タグ・情報収集モジュールを設置させない等、第三者や第三者のウェブサイト等に対する条件があればご記載ください。 昨年の回答からの変更点：ありません。 Google 広告ポリシーヘルプ 及び Google 広告ヘルプ の下記のヘルプページをご参照ください： 顧客データに関するポリシー カスタマーマッチのポリシー データの収集及び使用 パーソナライズド広告でのデータの使用（Google 検索、Gmail、YouTube） パーソナライズド広告 Google タグについて
3-3. [3-3]	第三者や第三者のウェブサイト等に対し、どのように同意取得や通知を促しているか。また、促した結果の対応状況について確認しているか。	※第三者や第三者のウェブサイト等から利用者情報を収集する場合において、第三者や第三者のウェブサイト等に対し、利用者に対する同意取得や通知、説明等を実施するよう促しているか、どのように促しているか、促した結果の当該第三者による対応状況（適切に通知を行いオプトアウトの手段を提供しているか等）を確認しているかについてご記載ください。 昨年の回答からの変更点：変更部分は赤文字で記しています。 Google はヘルプ ページを通じて Google 広告の顧客に通知することで、同意が適切に取得されていることを確認するとともに、プライバシーに関する通知を提供しています。以下に例を挙げます。

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		● Google 広告 ヘルプページ「ユーザーの同意を取得する」にユーザーの同意を取得するための方法について詳細に説明しています。 ● 顧客データに関するポリシーでも、ユーザーの同意の必要性について説明しています。なお、ポリシーの遵守状況について、顧客のビジネスをいつでも審査でき、場合によってはアカウントを強制停止することを明記しています。 ● AdSense のヘルプ ページでは、プライバシー ポリシーと同意通知に関する広告主へのガイダンスを提供しています。 ● Google アナリティクスのヘルプ ページでは、顧客とユーザー向けにデータ収集とセキュリティに関する情報を提供しており、「Google のお客様は、保存される情報についてユーザーに通知し、ユーザーが同意または拒否を選択できるようにする必要があります」と述べています。
3-4. [3-4]	タグ・情報収集モジュールを提供している場合、第三者のウェブサイト等への当該タグ・情報収集モジュールに関する情報の提供状況（タグ・情報収集モジュールの仕様、外部送信規律への対応方法等）	※JavaScript タグ・情報収集モジュールを設置する第三者のウェブサイト等が外部送信規律に対応するためには、当該 JavaScript タグ・情報収集モジュールの仕様（送信する情報の内容、送信先、利用目的等）について認識する必要があるところ、当該仕様について、どのように第三者のウェブサイト等に対して情報提供をしているかについて、ご記載ください。 昨年の回答からの変更点：ありません。 Google は、Google のタグを使用する日本のユーザーに対し、電気通信事業法 の要件に準拠するためのヘルプ ページを提供しており、このページはプライバシー ポリシーのページに直接リンクされています：

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

Google

ポリシーと規約

概要

プライバシーポリシー

利用規約

テクノロジー

よくある質問

プライバシーポリシー

データ転送の枠組み

主な用語

パートナー

電気通信事業法27条の12に基づく開示事項等

Googleが提供するウェブサイトやアプリを閲覧または利用した場合に、下記のタグまたは情報収集モジュールにより、利用者の端末からGoogleに情報が送信される場合があります。送信される利用者に関する情報（送信される可能性がある情報を含みます。）の内容や利用目的は以下のとおりです。

サービス名	公開する送信される情報の内容	利用目的
Google アナリティクス	- インターネット通信に通常用いられるシステム、デバイス、ネットワーク、通信に関する情報 - 位置情報 - サイト・アプリ上での行動に関するデータ - 閲覧ページに関するデータ - ユーザー識別子（cookie、端末識別子等）	利用者による閲覧の傾向や履歴の分析のため
Google アドマニージャー	- インターネット通信に通常用いられるシステム、デバイス、ネットワーク、通信に関する情報 - 広告イベントデータ（インプレッション、クリック等） - 閲覧ページに関するデータ - ユーザー識別子（cookie、端末識別子等）	広告、各種情報の配信
Google AdSense	インターネット通信に通常用いられるシステム、デバイス、ネットワーク、通信に関する情報	広告、各種情報の配信

日本のユーザーへの法定表示事項

日本のユーザーへの法定表示事項の変更履歴

更新情報

電気通信事業法 27 条の 12 に基づく通知・公表のための参考情報（事業者向け）

もご参照ください：

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

電気通信事業法27条の12に基づく通知・公表のための参考情報（事業者向け）

免責

- 本ページは、事業者が電気通信事業法27条の12（いわゆる外部送信規律）に基づく通知又は公表を行うにあたって、参考となる情報を提供するためのものです。法的アドバイスの提供を目的としたものではありません。
- 情報の内容については注意を払っておりますが、その完全性、正確性、妥当性を保証するものではありません。
- Googleは、本ページに依拠して行われる電気通信事業法上の通知、公表その他一切の行為について、何ら責任を負いません。
- 本ページの内容は、予告なく変更または削除される場合があります。
- 本ページの内容は2023年6月16日時点の情報に基づいています。
- 本ページの内容は今後弊社ウェブサイトで公開予定です。弊社ウェブサイトには最新の情報が反映されますので、公開後は弊社ウェブサイトをご覧くださいませよう願います。

一般的な利用目的

Google は、Google のサービスから収集した情報をどのような目的で利用するのかについて、[プライバシーポリシー](#)で広く公開しています。Google に送信された利用者に関する情報は、下記の各サービスの利用目的に加え、これらのプライバシーポリシー記載の目的で使用される場合があります。なお、Google のすべてのサービスがプライバシーポリシー記載の目的でデータの利用をしているわけではなく、いくつかのサービスには該当しない利用目的もあります。各サービスでの利用目的に関する詳しい情報は、各サービスのヘルプセンターなどでご確認ください。

[Google がデータを収集する目的（プライバシーポリシー記載の目的）](#)

- サービスの提供
- サービスの維持、向上
- 新しいサービスの開発
- コンテンツや広告など、カスタマイズしたサービスの提供
- パフォーマンスの測定
- お客様とのコミュニケーション
- Google、Google のユーザー、一般の人々の保護

Googleに送信される情報の内容及び利用目的

Googleが提供する主要なタグや情報収集モジュールがウェブサイトやアプリに使用されている場合に、利用者の端末からGoogleに送信される利用者に関する情報（送信される可能性がある情報を含みます。）の内容やGoogleの主な利用目的は、以下の表のとおりです。

なお、サービス利用者の設定次第では、下記に記載されていない情報も送信される場合があります。そのような情報の有無及び内容については、自社の設定をご確認ください。

凡例：質問中の〔 〕内の番号は2024年度ヒアリングシートの間番号を示す

れる可能性がある情報を含みます。)の内容やGoogleの主な利用目的は、以下の表のとおりです。

なお、サービス利用者の設定次第では、下記に記載されていない情報も送信される場合があります。そのような情報の有無及び内容については、自社の設定をご確認ください。

サービス名	情報の送信先	送信される情報の内容	利用目的
Google アナリティクス	Google LLC及びその関係会社	- インターネット通信に通常用いられるシステム、デバイス、ネットワーク、通信に関する情報 - 位置情報 - サイト・アプリ上での行動に関するデータ - 閲覧ページに関するデータ - ユーザー識別子 (cookie、端末識別子等)	利用者による閲覧の傾向や履歴の分析のため
Google アドマネージャー	Google LLC及びその関係会社	- インターネット通信に通常用いられるシステム、デバイス、ネットワーク、通信に関する情報 - 広告イベントデータ (インプレッション、クリック等) - 閲覧ページに関するデータ - ユーザー識別子 (cookie、端末識別子等)	広告、各種情報の配信
Google AdSense	Google LLC及びその関係会社	- インターネット通信に通常用いられるシステム、デバイス、ネットワーク、通信に関する情報 - 広告イベントデータ (インプレッション、クリック等) - 閲覧ページに関するデータ - ユーザー識別子 (cookie、端末識別子等)	広告、各種情報の配信
AdMob	Google LLC及びその関係会社	- インターネット通信に通常用いられるシステム、デバイス、ネットワーク、通信に関する情報 - 広告イベントデータ (インプレッション、クリック等) - 閲覧アプリ、サイトに関するデータ - ユーザー識別子 (端末識別子等)	広告、各種情報の配信

凡例：質問中の〔 〕内の番号は2024年度ヒアリングシートの間番号を示す

3-5. 【新規 問】	第三者や第三者のウェブサイト等を経由した情報収集を行っている旨、自社のプライバシーポリシー等で利用者に対して説明しているか。	※特に、自社サービスのアカウントを保有していない人について情報を取得している旨を説明しているか、具体的にご記載ください。 第三者や第三者のウェブサイト等から収集した情報の使用については、プライバシーポリシーで説明しています。Google は階層的なアプローチを採用しています。Google ポリシーと規約のページの「お客様の Google サービス利用時に Google が収集する情報」に記載されている「Google のサービスを利用している第三者のサイトやアプリでのアクティビティ」から「Google のサービスを使用するサイトやアプリから収集した情報の Google による使用」がリンクされています。（上記 3-1 参照。）この説明は、アカウントを保有しているか否かにかかわらず、すべてのユーザーに一般的に適用されます。Google は、すべてのユーザーが、Google サービスを使用するサイトやアプリにアクセスしたり操作したりする際に、デバイスによって共有される情報を管理する方法、およびアカウントを持つユーザーが利用できる追加オプションに関する情報を提供します。さらに、Google のオンライン広告サービスの顧客には、そのウェブサイトやアプリで特定の開示を行うことを義務付けています。例えば、「データセグメントに関してプライバシーポリシーに記載する必要がある情報」をご覧ください。
3-6. [3-7-1] ※下 線部補 足	第三者の保有する利用者情報と自社の保有する利用者情報を突合することで、広告施策等を実施するサービス提供の状況	※第三者から提供を受けた利用者情報と、自社で保有する利用者情報を突合することにより、第三者が利用者の分析を行ったり、広告施策を実施したりするため利用者の興味関心等の情報を提供する、データクリーンルームやカスタムオーディエンス等のサービスを提供しているか、またその具体的な提供内容についてご記載ください。なお、「第三者」とは貴社以外のすべての事業者をいい、貴社において提供を「委託提供」と整理されている場合を含みます。 昨年の回答からの変更点：設問の変更に伴って追加した部分は赤文字で記しています。 Google 広告の顧客に Ads Data Hub というサービスを提供しています。これは、ユーザーデータのプライバシーを保護しながら、Google のデータと顧客の自社データを組み合わせて分析に利用できるサービスです。

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		Ads Data Hub では、ファーストパーティ データをアップロードして、Google のサービスで蓄積されたイベントレベルの広告キャンペーン データと結合することが可能です。ファーストパーティ データと Google のイベントデータを組み合わせれば、新たなインサイトの発掘や広告の効率アップを期待でき、データドリブンなビジネス目標の達成や、効果的なキャンペーン最適化につながります。Ads Data Hub から返されるのは、まとまった数のユーザーの情報を集約したものであり、エンドユーザーのプライバシーを保ちつつ、より完全なデータをご提供できる仕組みになっています。 Ads Data Hub は次の方法でユーザーのプライバシーを保護します。 ● 基盤データを調べることはできないようになっています。Ads Data Hub は、集約後のデータだけを共有することにより、エンドユーザーの再識別防止を図っています。 ● プライバシー チェックが発動すると、警告なしでデータ行が除外される可能性があります。 ● 一部のプライバシー チェックでは過去のクエリ結果との比較が行われており、ジョブ間でクエリ結果が十分に変化しない場合にチェックが発動することがあります。
4. サードパーティによる情報取得への対応方針		
4-1. [5-1]	自社サービスにおける外部送信規律への対応状況	昨年の回答からの変更点：ありません。 日本のユーザーへの法定表示事項をご参照ください。
5. ターゲティング広告に係る事前の設定の機会やオプトアウト機会の利用者への提供について、いわゆるダークパターンを回避するために各社はどのような取組を行っているか。		

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

※ダークパターンとは、例えば「スマートフォン プライバシー セキュリティ イニシアティブ」（総務省 利用者情報に関するワーキンググループ（令和 6 年 11 月 29 日））では「サービスの利用者を欺いたり操作したりするような方法又は利用者が情報を得た上で自由に決定を行う能力を実質的に歪めたり損なったりする方法で、ユーザインターフェースを設計・構成・運営すること。」とされています。また、「利用者情報に関するワーキンググループ」（第 3 回）3－1 もご参照ください。 （参考）「利用者情報に関するワーキンググループ」（第 3 回）資料 3－1 ダークパターン及びプロファイリングについて https://www.soumu.go.jp/main_content/000942682.pdf		
5-1. 【新規 問】	ダークパターンを回避するための 体制・ルールの整備等	※貴社において、いかなるものをダークパターンと考えるかご記載ください。 ※ダークパターンを回避するための貴社における体制やルールの整備等のガバナンスに係る取組についてご記載ください。 「ダークパターン」の定義はひとつではなく、管轄法域によって解釈が異なります。 Google では、欺瞞的なデザイン（ダークパターンと呼ばれることもあります）を、ユーザーを操作したり、習慣、感情、または認知バイアスなどを悪用して、意図しない購入、登録、同意などをさせる行為であると考えています。 Google は、関連法律を遵守することに加えて、欺瞞的なデザインを禁止するポリシーを長年有しています。Google は、データ慣行に関する有意義な情報を提供し、ユーザーとそのプライバシーを保護するためのユーザーコントロールを提供することにより、透明性に取り組んでいます（Google の プライバシー原則 を参照）。
5-2. 【新規 問】	ターゲティング広告に係る事前の 設定の機会や、オプトアウト機会 の利用者への提供について、ダーク パターンを回避するための取組	※ダークパターンを回避し、利用者が利用規約やプライバシーポリシーを理解した上でターゲティング広告に関して事前の同意を行ったり、オプトアウトを行うための工夫について具体的にご記載ください。 ユーザーが自身の広告やプライバシー体験をカスタマイズできるように Google が提供している マイ アドセンター や データとプライバシー ページなどのツールは、ユーザーに透明性とコントロールを提供するために、Google の プライバシー原則 に基づいて設計されています。また、広告関係を含み、効果的なプライバシー選択を実現するための具体的な指導をする社内リソースも存在します。

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

5-3. 【新規 問】	ダークパターンをはじめ、利用者情報の取得、ユーザインターフェースに関する利用者から指摘や問合せ、対応状況	※ダークパターンをはじめ、利用者情報の取得、ユーザインターフェースに関して利用者からの指摘や問合せについて、把握可能な限り、直近の年間件数をご記載いただき、具体例とともに実際の対応した結果等についてご記載ください。 Google は、日本のユーザーがプライバシーに関する質問やリクエストを送信するためのユーザー向けチャンネルを維持しています。プライバシーポリシーの日本語版には、日本のユーザーが通信事業法および個人情報保護法に従って要請などを送信できるメールアドレスが記載されています。また、広告ヘルプセンター、データとプライバシー ページ、プライバシー診断、マイ アドセンターなど、ユーザー情報とプライバシーに関する「セルフヘルプ」のリソースも多数提供しています。現在、Google では特定のトピックに限定してフィードバックや質問などをトラッキングしていません。
6. ターゲティング広告に関して、利用者のターゲティング手法に変化はあるか。利用者情報の取扱いの観点から懸念はないか。		
6-1. 【新規 問】	AI の活用による利用者のターゲティング方法の変化と対応	※AI を広告に活用することにより、広告の配信やターゲティング、効果測定が大きく向上すると理解していますが、このうち、利用者のターゲティングについてどのような変化があるか(例:プロファイリングの精緻化等)記載ください。 ※AI の活用に際してプライバシー保護その他利用者の利益の保護の観点から留意していることをご記載ください。 ※AI によるターゲティングがされることを、プライバシーポリシー等においてどのように利用者に対して説明しているか、説明を行っている場合、利用者の理解度を把握しているかご記載ください。

	※AI の活用が、プライバシー保護その他利用者の利益の保護に資する方向に働く可能性がある場合は、当該可能性について具体的にご記載ください。 Google における広告目的での AI の利用は、一連のプライバシー原則とユーザーコントロールへのコミットメントに基づいています。Google の検討事項は、プライバシーと効果的な広告は両立するという考えに基づいて構築されています。 ● プライバシーバイデザイン: Google は、差分プライバシーや連合学習といったプライバシー強化技術（privacy enhancing technologies: PETs）を AI モデルに組み込んでいます。これにより、モデルは個々のユーザー情報にアクセスしたり開示したりすることなく、ユーザー情報から学習トレンドを特定することができます。情報はユーザーのデバイス上で処理され、集計され、匿名化されたインサイトのみが Google のサーバーに送信されます。 ● データ最小化: Google のモデルは効率的であるように設計されており、関連性の高い広告を配信するために必要な情報のみを使用します。健康、人種、宗教、性的指向などの機密性の高い情報を広告ターゲティングに使用しないという厳格なポリシーがあります。また、Gmail や Google フォトなどの個人向けサービスからのデータをパーソナライズド広告には使用しません。 ● 人間による監督と説明責任: すべての AI ベースのシステムは、不公平な偏見を防止し、弊社の AI 原則に合致していることを確認するために、厳格な検証と人間による監視を受けています。これには、多様なチームによるレビューや、「レッドチーム」（組織のセキュリティ対策の有効性を評価するために、攻撃者の視点から疑似的な攻撃を行うチーム。）による潜在的なリスクの事前特定と軽減が含まれます。 ユーザーへの説明方法 Google の取り組みは、詳細な技術的説明よりも、透明性と具体的なコントロールを優先することです。前述のとおり、ユーザーの理解とコントロールを強化するための主要な方法は、マイアドセンター、プライバシーポリシー、セーフティセンター等を定期的に
--	---

凡例：質問中の〔 〕内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		更新することによってユーザーを教育し、必要なユーザーコントロールを提供することです。 AI がプライバシー保護に貢献する可能性 AI はユーザーのプライバシーを強化する上で重要かつ積極的な役割を果たすことができます。 ● 不正行為および悪意のあるコンテンツの検出: Google は AI を使用して、ボットによるクリックなどの無効なトラフィックを検出し、ポリシーに違反する悪意のある広告を特定します。これにより、ユーザーを詐欺やフィッシングの試みから保護し、より安全なオンライン環境を確保します。大規模言語モデルを搭載した最新の AI 防御機能は、コンテンツレビュー機能を大幅に向上させました。 ● PETs: 前述のとおり、AI は PETs の原動力です。AI モデルは、集計され匿名化されたデータを使用して、個々のユーザーをウェブ全体で追跡することなく関連性の高い広告を配信できます。これは、有用なサービスの基盤となる技術です。 ● 自動情報削除: Google の AI システムは、一定期間（例えば、3、18、または 36 ヶ月）後にユーザーのアクティビティ情報を自動的かつ継続的に消去する自動削除機能を強化しています。これにより、ユーザー情報が無期限に保持されることがなくなり、ユーザーのプライバシーに直接貢献します。
6-2. 【新規質問】	サードパーティクッキーの代替技術	※利用者のターゲティングにおいて、今後もサードパーティクッキーを活用していくのか、代替的な新たなアプローチを採用するのかについて記載ください。 2025 年 4 月に、プライバシー サンドボックスチームはブログを公開し、2019 年にプライバシー サンドボックスが開始されて以来、業界のテクノロジーと規制環境が大きく変化したこと、そしてサードパーティ Cookie の利用に影響を及ぼす変更について様々な意見があることを改めて表明しました。これを受けて、プライバシー サンドボックスチームは、Chrome でユーザーにサードパーティ Cookie の選択肢を提供するという現在の方法を維持することを決定し、サードパーティ Cookie の新たな選択プロンプトを展開す

凡例：質問中の [] 内の番号は 2024 年度ヒアリングシートの間番号を示す

		ることはなくなりました。Chrome は、シークレットモードでの IP Protection や Script Blocking を含む、他のプライバシー サンドボックス技術への投資を継続することでユーザーのプライバシー保護を強化します。Google は現在、これらの技術のロードマップ、特に将来の投資分野を再定義するために、業界と連携してフィードバックを収集しています。Google は引き続き、広告主やパブリッシャーに対し、AI を活用した技術やファーストパーティ データを利用することを含む、データ基盤の導入を推奨しています。
--	--	---